

(様式—1) 信濃川下流工事施工研究発表会

1	表題(課題)名	現場周辺における地域貢献	
2	工事(業務)名	戸石地区河道掘削その7工事	
3	受注者名	株式会社 坂詰組	
4	工期	令和 3年 5月 11日 ~ 令和 4年 3月 29日	
5	担当技術者(立場)名	現場代理人	(ごとう つとむ) 後藤 勉
6	担当主任監督(調査)員	三条出張所長	
7	課題区分名	⑧地域への貢献等 (_____)	
8	工事(業務)概要	戸石地区の河道掘削及び工事用道路設置を施工した。	
9	【施工における 課題・問題点 等】		
	<p>当現場付近は田畑があり耕作者とのコミュニケーションや現場出入口には学校の送迎バスや路線バス等が停車するバス停があった。コロナ禍のため多数集まる見学会等の参加型の地域貢献ではなく、接触を少しでも避けた地域貢献が課題となった。</p>		
10	【実 施 内 容】		
	<p>自治会長や開田組合長とコミュニケーションを行った結果、下記の3項目を実施した。</p> <p>【1】農道整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場周辺は田畑があり農耕車が頻繁に出入りしていることから農道が傷んでいたため碎石にて敷砂利補修を行った。 <p>【2】余水吐きの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 占用地解除に伴い用水使用量が減ったため、残水量が多くなりオーバーフローが発生しているため余水吐きを設置した。 <p>【3】バス停や堤防取付道路への凍結剤散布</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場出入口付近のバス停を地域住民が利用しているため凍結による転倒及びスリップ事故が懸念されたため凍結剤散布を行い事故防止を行った。 		
11	【実 施 結 果】		
	<p>【1】農道整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> 碎石にて補修だけを行うのではなく轍が大きい所は整地を行った後、敷砂利をした。敷砂利後、ローラー転圧することで走行性も向上しその結果、2地区の開田組合長から感謝状を頂いた。 <p>【2】余水吐きの設置について</p> <ul style="list-style-type: none"> 余水吐きを設置したことで、オーバーフローやオーバーフローによる溝畔の崩れが無くなり耕作者や開田組合長から感謝のお言葉を頂いた。 <p>【3】バス停や堤防取付道路への凍結剤散布について</p> <ul style="list-style-type: none"> 凍結剤を散布したことでバス利用者の転倒を防止することが出来た。また、その周辺にも散布したことからスリップによる事故も発生しなかった。 		

(様式—2)

【実施内容等】

【1】農道整備状況



農道敷砂利状況



農道敷砂利転圧状況



感謝状

【2】余水吐きの設置状況



余水吐き設置状況

【3】バス停や堤防取付道路への凍結剤散布について



バス停付近散布状況



堤防取付道路散布状況